

Informatica Cloud Mass Ingestion

メリット

- 変更データキャプチャをクラウドデータウェアハウスに取り込む
- ストリーミングデータとIoTデータをデータレイクやKafkaに取り込み、リアルタイムアナリティクスを実行
- ファイル、データベース、ストリーミングデータに対応可能な柔軟なデータインジェクション（取り込み）オプションを活用

広範なあらゆるデータを効率的に自動収集

データ主導のデジタルトランスフォーメーションは、ビジネスを加速させ、競争優位性を獲得するための鍵となります。デジタルトランスフォーメーションを開始するには、まず多様なソースに分散している大量のデータをクラウドまたはオンプレミス環境のリポジトリ（処理およびレポート作成用）やメッセージングハブ（リアルタイムアナリティクス用）へ迅速に取り込む必要があります。

主な機能

インフォマティカが提供する次世代iPaaS（サービスとしての統合プラットフォーム）のInformatica Intelligent Cloud ServicesSM (IICS) iPaaSは、データ統合、アプリケーション統合、API管理、データ品質、データ管理のすべてのイニシアチブをサポートします。IICSは、AIと機械学習ベースのインテリジェンスを提供するCLAIRE[®] エンジン、マイクロサービスアーキテクチャによるクラウドの拡張性、Cloud Mass Ingestionなどの重要なクラウドインフラストラクチャサービスを備えています。

ストリーミングデータの取り込み

ストリーミングやIoTのエンドポイントからデータを収集し、変換、エンリッチ化して、クラウドデータリポジトリやメッセージングハブに取り込むことができます。このストリーミングサービスは、ログやクリックストリーム、ソーシャルメディア、Kafka、JMS、MQTTなどのデータソースをサポートしています。

これらのストリーミングデータをAmazon S3やKinesis Data Firehose、Microsoft Azure Event Hub、Kafkaに取り込み、シンプルなデータ変換ルールを適用することで、データをアナリティクス用に準備できます。このデータ変換ルールにより、複数のイベントを単一のイベントに結合したり、特定の条件に基づいてフィルタリングしたり、取り込んだデータを異なる出力グループに分けたりすることができます。

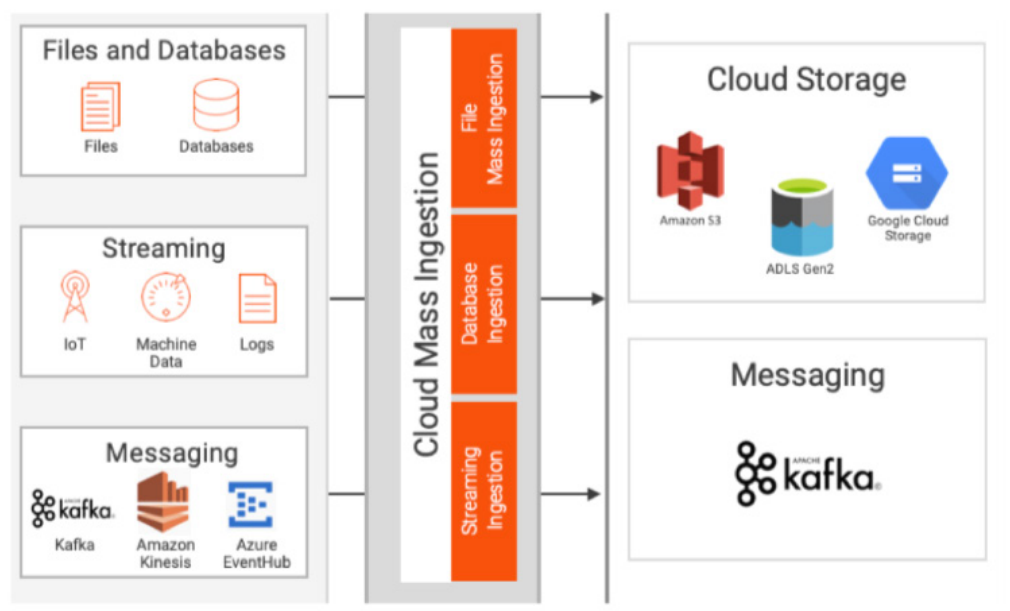


図1 : Informatica Cloud Mass Ingestion。

ファイルの取り込み

あらゆるサイズのファイルを、優れた拡張性とパフォーマンスで簡単に転送できます。データは Amazon S3やMicrosoft Azure Blob、Microsoft Azure Data Lake Storage、Google Cloud Storage、HDFS、FTPサーバー、SFTPサーバー、FTPSサーバーなどのファイルソースから取り込むことができます。またクラウドおよびオンプレミスについて、FTPサーバー、SFTPサーバー、FTPSサーバー、Amazon S3、Microsoft Azure Blob、Microsoft Azure Data Lake Storage、Google Cloud Storage、HDFSなどの幅広いデータターゲットをサポートしています。

ファイルの転送はPGP暗号化を使用して安全に実行し、ウイルスの有無をスキャンしてから、ターゲットにロードできます。また、ファイルを圧縮して、ソース/ターゲット間での転送効率を高めることもできます。

データベースの取り込み

Oracle、Microsoft SQL Server、MySQLなどのリレーショナルデータベースからデータを取り込んで、Amazon S3、Kafka、Microsoft Azure Data Lake Storage、Microsoft Azure Synapse Analytics、Snowflakeに転送し、変更データキャプチャのニーズに対応できます。ロード処理には、単一時点での取り込みによる初期ロード、変更内容を継続的に反映させるOracle増分ロード、両方を組み合わせたOracle初期/増分ロードなどのオプションがあります。

Webベースのデータインジェクション体験

Webベースのインターフェイスにより、大量データの取り込みタスクを簡単に設定および展開して、タグを使用して類似タスクをグループ化し、フォルダを使用して整理できます。また、取り込みタスクのパラメータ（ソース、ターゲット、変換、ランタイムのオプションなど）も定義できます。さらに、特定のタスクをドリルダウンして、パフォーマンス統計値やタスク実行履歴などの詳細も確認できます。

インフォマティカについて

デジタルトランスフォーメーションによって我々の期待値が変化しています。より良いサービスを、素早く、便利に、低コストで利用したいという期待が高まっているのです。企業も状況に応じて変化する必要があります。そしてそのヒントは「データ」にあります。

エンタープライズ向けクラウドデータ管理で世界をリードするインフォマティカは、俊敏性の向上、新たな成長機会の獲得、新しいソリューションの開発を実現するための洞察を通じて、あらゆる産業や分野の企業がインテリジェントにビジネスをリードできるよう支援します。インフォマティカは、あらゆるデータを徹底的に重視し、企業の成功に必要なとされる汎用性を提供します。

インフォマティカは、企業がこれからのインテリジェントな破壊的イノベーションを推進できるよう、当社が提供するあらゆるサービスを通じてデータの力を継続的に引き出すことを支援します。

リアルタイムのモニタリングとアラート通知

大量取り込みタスクをモニタリングして、タスクのプロパティ（タスクのタイプ、ランタイム環境、開始時間、継続時間、状態など）のリストを表示できます。また、社内のすべてのユーザーの取り込みタスクをモニタリングして、回数と状態の概要、すべてのタスクのリスト、エラーや警告が発生した最近のタスクを表示できます。

主なメリット

リアルタイムアナリティクスでより深いインサイトを獲得

ストリーミングデータ、ファイル、データベースをクラウドデータレイク、メッセージングシステム、クラウドデータウェアハウスに効率的に転送して、詳細なインサイトを獲得できます。またログやクリックストリーム、IoTデータなどの重要な業務データをKafkaに取り込んで、リアルタイムアナリティクスを実行できます。

データをクラウドデータウェアハウスおよびクラウドデータレイクと同期

複数のデータベース（オンプレミスのデータベースなど）からクラウドデータウェアハウスやクラウドデータレイクにデータを転送して、データウェアハウスを最新化できます。データウェアハウスへのデータの初期バッチロード後は、Cloud Mass Ingestionによってソースデータベースの変更内容が継続的に反映されるので、データを最新の状態に維持できます。

データ取り込みのあらゆるニーズへ効率的な単一のインジェスチョンソリューションを活用

大量のデータ取り込みを実現する統合ソリューションを通じて、あらゆるデータ統合パターン（ファイル、データベース、ストリーミングなど）、多様なソース/ターゲット、またデータ変換を柔軟にサポートすることが可能になります。また、大量取り込みタスクを作成および展開して、一元化した管理ダッシュボードでランタイム環境をモニタリングすることで、ボトルネックの恐れがある状況や警告へ容易に対応できます。

詳細情報

詳細やその他の関連資料へのリンクは、[Cloud Mass Ingestion](#)のWebページをご覧ください。IICSの詳細は、[Informatica Intelligent Cloud Services](#)をご覧ください。

[30日間無料体験版](#)に登録して、Cloud Mass Ingestionをそれぞれの環境でお試しいただけます。



〒105-6226

東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー26階 電話：03-6403-7600（代表）FAX：03-3433-1021

IN06_0120_03716

© Copyright Informatica LLC 2020. Informatica, Informaticaロゴ, Informatica Intelligent Cloud Services、およびCLAIREは、米国およびその他の国におけるInformatica LLCの商標または登録商標です。インフォマティカの商標の最新版は、<https://www.informatica.com/jp/trademarks.html>をご覧ください。その他すべての企業名および製品名は、各社が所有する商号または商標です。本文書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあり、現状のまま提供され、明示または黙示を問わず一切の保証を伴いません。